

下丸子・六郷を歩く

【散策マップ】

安養寺

真言宗のお寺で、境内には願をかけると母乳の出が良くなるといわれるイチヨウの木があります。東海道筋に建てられていた道標が門前に移設され、かつての賑わいをほうふつとさせます。

宝物殿には、藤原末期の作の阿弥陀如来、薬師如来、釈迦如来の三尊像があります。(通常非公開)



大田区の花壇

10m×37mもある大きな花壇。区のマークと「大田区」の文字を花でかたどってあります。



北野神社

八代將軍吉宗の落馬を防いだという故事に由来し「止め天神」とも呼ばれています。境内には、六郷の渡しの際の標柱も立っています。



宮本台緑地公園

現在の橋に架け替える前の六郷橋の橋門が移設されています。公園内には石造の親柱や欄干の一部も保存され、六郷橋付近の歴史などの案内板が設置されています。



明治天皇六郷渡御碑・長十郎梨発祥の碑

川崎側の新六郷橋のたもとに、明治天皇が新都に入る際にここを渡った記念碑と、旧大師河原村で生まれた長十郎梨の碑が並んで建てられています。かつてこの梨は多摩川梨の商標で出荷されていました。



赤レンガ堤

旧明治製糖の荷揚げ場だった場所に赤レンガの堤防が、いまも一部残っています。工場は移転し、現在は親水公園として整備されています。



サンビアン
かわさき
(ディスカッション会場)

川崎競馬場

十寄神社

十寄は「じゅつき」とも「とよせ」とも呼ばれています。新田義興とともに討ち死にした家臣十人をまつた神社。新田神社に詣でる前にここへ参詣しないと願いが成就しないとか。



頼兵衛地蔵

新田義興謀殺に加担した船頭・頼兵衛が、それを悔やんで地蔵を立てたという伝説があることから、こう呼ばれています。地蔵の磨耗が激しく、融けたように見えるので「とろけ地蔵」の別名もあります。



新田神社

矢口の渡しで憤死した新田義興の霊をしずめるため、墳墓を築いて新田大明神としてまつたのが神社のはじまり。武家の信仰を集め、祭礼の日には大変にぎわったそうです。



矢口の渡し跡

昭和24(1949)年まで使われていた渡し。新田義興が謀殺されたところの矢口の渡しは、新田神社の裏手あたりにあったと考えられています。



コラム1

スーパー堤防(高規格堤防)

スーパー堤防とは、堤防の高さの30倍の距離から盛り土をはじめ、川岸に向かって緩やかな傾斜をつけた堤防です。大洪水の時でも急に水があふれるのを防ぎ、地震にも強い新型の堤防です。敷地自体が堤防になっているため自然な景観が保たれ、川と地域との一体感も生まれます。京浜河川事務所では、まちづくりと一体となつて下流両岸をスーパー堤防として整備しようとしています。



緊急用船着場

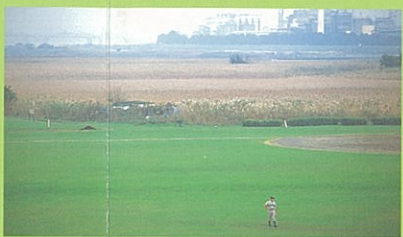
地震などの災害で道路が分断された場合に、多摩川を利用して緊急物資を運ぶための船着場です。



コラム2

生態系保持空間

六郷橋の上から下流を見ると、グラウンドの向こうにヨシ(アシ)の群落が見えます。ここは「生態系保持空間」で、人間のむやみな立ち入りを禁じ、貴重な生態系を保護している場所です。ウラギクやタコノアシなどの希少種が自生し、干潮時には干潟も現れ、四季を通じて野鳥の格好のすみかになっています。またヨシには水質浄化作用があることも知られています。



下丸子・六郷散策コース

- | | |
|----------------|--------------------------|
| 9:30 | 10 |
| 1 下丸子駅 集合 | 10 赤レンガ堤(対岸) |
| 2 頼兵衛地蔵 | 11 北野神社 |
| 3 新田神社 | 12 宮本台緑地公園 |
| 4 十寄神社 | 13 六郷橋と六郷の渡し跡 |
| 5 矢口の渡し跡 | 14 明治天皇六郷渡御碑 |
| 12:00 | 15 長十郎梨発祥の地 |
| 6 緊急用船着場(昼食) | 16 サンビアンかわさき(ディスカッション会場) |
| 7 岸辺の散策路・川の一里塚 | |
| 8 安養寺 | |
| 9 戸手地区スーパー堤防 | |